

<用語解説>

※1 市町村役場機能緊急保全事業

・昭和 56 年の新耐震基準導入前に建設され、耐震化が未実施の市町村の本庁舎の建替え事業等に対し、国が財政支援を行う事業。平成 28 年 4 月に発生した熊本地震において、複数の自治体で庁舎が被災し、業務に支障が出たことから創設された。

※2 VFM（バリュー・フォー・マネー）

・支払（Money）に対して最も価値の高いサービス（Value）を供給するという考え方のこと。同じサービスであれば支払額が安い方法、同じ支払額であれば最も価値の高いサービスを提供できる方法が良いとされる。

※3 DB方式

- ・民間事業者に設計（Design）、建設（Build）を一括発注する手法。
- ・事業手法については、他に、

民間事業者に設計、建設を個別に発注する「直接施工方式」、

民間事業者に設計、建設、維持管理（Operate）を一括発注する「DBO 方式」、

民間事業者に設計、建設、維持管理を一括発注し、資金調達も民間事業者が行う「PFI 方式」などがある。

※4 脱・財政危機宣言

・平成 21 年 10 月に千葉市長から発出された宣言。経済状況の悪化に伴う市税収入の大幅な減少などにより多額の収支不足が見込まれることから、一層の財政健全化に取り組むため、公共事業の見直し等による歳出カットや、市税等の収納率の向上など歳入確保に取り組むこと、それらについて市民の方々に理解・協力を求める内容となっている。

※なお、「危機的な状況は脱した」として、本宣言は平成 29 年 9 月 1 日に解除されました。しかし、依然として厳しい財政状況であることに変わりはないため、将来に向け持続可能な財政運営を目指し、財政の健全化に取り組んでまいります。

※5 ライフサイクルコスト

・プロジェクトにおいて、計画から、施設の設計、建設、維持管理、運営、修繕、事業終了までの事業全体にわたり必要なコストのこと。設計費、建設費といった初期投資費用（イニシャルコスト）だけでなく、建設後の光熱水費、修繕費といった維持管理等にかかる費用（ランニングコスト）全てを含む。